

2. [産業振興について]

吉田町会場（田井交流センター）

Q14：清嵐荘の改修について。昨年、知人から清嵐荘で同窓会をしたいという話があったが、清嵐荘は古くていけない、特に部屋にトイレがないことと洗面所が一箇所しかないということで別の場所で開催された。湯村温泉は素晴らしい温泉であり、清嵐荘も大事な施設である。松江自動車道の開通もあり、たくさんの方においでいただきたい。ぜひとも清嵐荘の改修をお願いしたい。

それにあわせて、清嵐荘への進入路でもある市道海谷湯村線と国道314号線の交点部分についても改修工事をお願いしたい。点滅信号はついているが、314号線に出る際に、深野方面の見通しが悪く、車もスピードを出して来るため、危なかったり事故があったりという話を聞いている。清嵐荘の改修ではあわせて駐車場等の改修についても検討されると思う。本件については、田井地区としても道路に関する地域要望等により要望することも考えているが、清嵐荘の改修事業の中でも是非検討いただきたい。

A：観光面で出雲湯村温泉は雲南市にとって非常に重要と認識している。また、雲南市内には多くの方が宿泊できる施設が少なく、清嵐荘の改修については老朽化しているという点を考慮し早急に方向性を決めていかなければならない。築50年を経た施設であり老朽化が進んでいる。これまでも老朽化対策ということで調査を実施しており、現在検討段階であるが、施設改修ができるよう進めていきたいと考えているので今しばらくお時間をいただきたい。あわせて、駐車場、進入路についても課題があると思う。これについても具体的な検討を重ねていきたい。（産業振興部次長）

A：市道海谷湯村線と国道314号線の交点の改修について。まずは現地を確認する。市道については、合併以来順次改修等を実施しているがすべてを改修するまでにはいたっていない。どういうふうに改良できるかということについては、緊急度等も考慮しながら検討する。いずれにしてもすぐに現地を確認する。（建設部次長）

Q15：道の駅たたらば壱番地について。盛況であり現在でも多くの来訪者があり大変嬉しく思っている。しかし、連休時の浄化槽の汚水処理が追いつかないなどトラブルが相次いでいる。目測を誤った設計であり、非常に恥ずかしく残念に思う。今後他の事業ではこうしたことがないようにしていただきたい。

A：たたらば壱番地について。3月30日の高速道路供用開始後、利用者の状況は、レジ通過者のみでも、3月の2日間だけで約8千人、4月以降は、4月が7万人、5月が6万人、6月が5万人。レジ通過者以外も含めると実際にはその2倍3倍の方に訪れていただいている。木次の道の駅の利用者が年間で10万人程度ということからも、非常に多いことが分かる。多いときには想定の4倍から5倍の人が訪れている状況であり大変ありがたいが、ご指摘のとおり設備が追いついていない。現在、少しずつであるが改善を図っており、トイレを節水型にしたり、浄化槽の増設も予定している。トイレの個数自体も少ないなどという意見もいただいており、検証をしながら今後準備を進めていく。（産業振興部次長）